

フレッシュジュニア手取川大会 大会要綱

フレッシュジュニア手取川大会主管支部

【大会運営規則】

- ①フレッシュジュニア手取川大会は、4年生以下で行われる大会である。
- ②本大会は、特別に5、6年生女子の大会選手登録を認める。(但しピッチャー、キャッチャーを除く。)
- ③試合回数は5回とし、1時間10分を過ぎて新しいイニングには入らない。
- ④塁間及び本投間は次の通りとする。 塁間 21m 本投間 14m。
- ⑤低学年はボークを取らず注意とする。ボークによって攻撃側が不利な判定(アウト)を受けた場合不利な判定を取り除く。走者はそのまま塁に留める。又、ボークと盗塁が同時に起こった場合盗塁を優先し次塁へ進ませる。守備側監督に説明、注意し試合を続行する。
- ⑥本大会においては、振り逃げは適用しない。
- ⑦投手の投球回数は1日60球までとする。
- ⑧選手の熱中症対策として、大人の方2名ベンチ入りを認める。(私服でチーム帽子を着用の事。)

【予選リーグについて】

- ①グループリーグ予選は、各グループリーグの責任チームと協議し、指定の期間中にリーグ予選を行う。
- ②各グループリーグ予選で順位を決定し1位のチームのみが、決勝トーナメントに進出する。
- ③審判については、各チームより審判を要請し、各会場にて両チームで協議して決定する。
- ④グループリーグ予選の試合会場は、各グループリーグの責任チーム地で行うのが望ましい。
- ⑤グループリーグ予選では、勝敗を以下のように取り決める。
 - ・勝者は勝ち点3、引き分けは勝ち点1とし、勝ち点が多いチームが決勝進出とする。
 - ・勝ち点が同点の場合は、直接対決で勝ったチームを優先とし、それでも引き分けの場合は、
 - ①総失点数の少ない方を優位とする。
 - ②総失点数が同じ場合は総得点数の多い方を優位とする。
 - ③それでも同じ場合は、抽選とする。
- ⑥1イニングで打者が一巡した場合は攻撃を終了し、攻守交替をして次のイニングに移る。
- ⑦各グループ責任チームは予選試合結果を、期日までに主管支部事務局に報告する。

【決勝トーナメントについて】

- ① 各グループリーグで予選1位になったチームによる決勝トーナメントを行う。
トーナメントブロックは予選ブロックの勝ち上がりブロックの通りのトーナメントとする。
(あえて抽選は行わない)
- ② 決勝トーナメントについて、5回終了時同点の場合は、特別ルールを1回行い、勝敗を決める。
特別ルールで勝敗が決まらない場合は、「○」印、「×」印による抽選を行う。
- ③ 得点差によるコールドゲームは、3回終了時点で10点差又は、4回終了時点で7点差とする。
これは、決勝戦でも同様に適用する。
- ④ 決勝トーナメントにおいては、打者一巡による攻守交代を適用しない。

【特別ルール（タイブレーク）】 ※決勝トーナメントに適用

- ・ 両チームとも無死とし、打順は前回の継続打順とする。この場合において、走者は当該打順直前の2人を2、1塁に着かせるが、代走、代打を送っても良い。投手、野手を交代させても何ら差し支えない。ただし、一度出場した選手は出られない。
(石川県軟式野球連盟学童部規則による。)

【その他】

- ・ 抽選方法は、試合終了時に出場していた両チームメンバーが本塁を挟んで向かい合い、整列して抽選を行ないます。審判は「○」印、「×」印の抽選用紙をそれぞれ9枚ずつ混ぜ合わせ、先行チームより交互に1枚ずつ選ばせる。選び終わったら集計し「○」印の多い方を勝ちとする。
注) 集計は選手の前では行わない。
- ・ 新年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟「少年野球（③学童部）に関する事項」並びに、開催年度ごとに主管する、各支部学童野球連盟大会要綱の規定に従う場合もありうる。